

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	<u>11</u>
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	<u>2</u>
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	<u>6</u>
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	<u>11</u>
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	<u>30</u>

事業所番号	2775600287
法人名	社会福祉法人 長寿会
事業所名	グループホーム 六尾の郷
訪問調査日	平成21年2月12日
評価確定日	平成21年3月9日
評価機関名	特定非営利活動法人ニッポン・アクティブライフクラブ

○項目番号について
 外部評価は30項目です。
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法
 [取り組みの事実]
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
 [取り組みを期待したい項目]
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。
 [取り組みを期待したい内容]
 「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
 家族 = 家族に限定しています。
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年2月17日

【評価実施概要】

事業所番号	2775600287
法人名	社会福祉法人 長寿会
事業所名	グループホーム六尾の郷
所在地	大阪府泉南市信達金熊寺118番地 (電話) 072-480-4888

評価機関名	特定非営利活動法人ニッポン・アクティブライフ・クラブ		
所在地	大阪市中央区常盤町二丁目1番8号親和ビル402号		
訪問調査日	平成21年2月12日	評価確定日	平成21年3月9日

【情報提供票より】(21年1月8日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成13年4月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18人
職員数	16 人	常勤 8人, 非常勤 8人, 常勤換算	14.4人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り
	3 階建ての 1 階 ~ 2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	18,000 円	
敷 金	有(円)	無 ○		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		1,000 円	

(4) 利用者の概要(9月29日現在)

利用者人数	18 名	男性	0 名	女性	18 名
要介護1	4 名	要介護2	3 名		
要介護3	7 名	要介護4	3 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 88.5 歳	最低 58 歳	最高 100 歳		

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	野上医院、ほりぐち歯科
---------	-------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

JR阪和線泉砂川駅から府道63号線を南東へ2kmほど行くと、左手の長閑な田園風景の中に大きな福祉施設群が目飛び込んでくる。それが社会福祉法人長寿会の福祉施設群である。その一角に「グループホーム六尾の郷」がある。法人の設立は平成5年であるが、平成6年にケアハウス、平成11年に特別養護老人ホームそして「グループホーム六尾の郷」と次々に設立、グループホームは平成13年に泉南市の中では他に先がけて設立された。他にもデイサービスセンター、配食サービス、地域包括支援センターが市よりの委託事業として開設されていて、地域は勿論のこと泉南市全体への貢献度も非常に高い。ホームは落ち着いた静かな佇まいで、食事を職員と共に楽しみながら調理したり、葉書絵を地域の方の指導で描くなど「その人がその人らしく暮らしておられる。」

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	現在、法人の理念として『「その人がその人らしく」生き抜くこと私たちがお手伝いします』と掲げ、地域に根ざしたあたり前の生活を支援している。しかし、事業所独自の理念をつくるようにとの改善課題に「家庭的な環境と地域交流の下で」等の文言を法人の理念に加えるべく調整中である。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価は職員全員で行いサービスの質の向上に活かしている。外部評価についても運営推進会議やミーティングで報告し評価を活かした具体的な改善に取り組んでいる。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	2ヶ月に一度、市高齢障害介護課、地域包括支援センター、民生委員、利用者家族、法人事務長、事業所スタッフが参加の上開催されている。会議ではこれまでの評価結果を踏まえての意見交換するだけでなくメンバーからの意見要望も受け、双方向的な会議としている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族等の訪問時には必ず話し合う機会を設け、何でも話し合える雰囲気づくりをし、そこで出た意見は運営に反映させるようにしている。年一回の家族会も設けられ、意見の場づくりにも心配りがされている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地区民生委員の協力を得て葉書絵教室の開催や、毎週火曜日に事業所のサロンでカフェサービスにより地域の方々にも参加していただき交流を図っている。地区老人会にも参加し積極的に地域の一人として地元の人々との交流に努めている。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人の理念として、『その人がその人らしく』生き抜くことと私たちがお手伝いします』と掲げ、地域に根ざしたあたり前の生活の支援をしている。事業所独自の理念「家庭的な環境と地域住民との交流の下で」等の文言を法人の理念に加えるべく調整中であるが、まだ作成されていない。	○	早急に作成されることを期待する。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念をリビングの壁の目に付きやすい処に掲示し、その人らしく生活してもらうよう心掛けることで自然に理念の実践につながっている。また、全体会議のつど確認をしている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地区民生委員の協力を得て葉書絵教室の開催や、毎週火曜日に事業所のサロンでカフェサービスにより地域の方々にも参加していただき交流を図っている。地区老人会にも参加し積極的に地域の一員として地元の人々との交流に努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は職員全員で行いサービスの質の向上に活かしている。外部評価についても運営推進会議やミーティングで報告し評価を活かした具体的な改善に取り組んでいる。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一度、市高齢障害介護課、地域包括支援センター、民生委員、利用者家族、法人事務長、事業所スタッフが参加の上開催されている。会議ではこれまでの評価結果を踏まえての意見交換だけでなくメンバーからの意見要望も受け、双方向的な会議としている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議以外にも3ヶ月ごとに事業所連絡会があり、また日頃から報告や、連絡、相談等を行うなど市担当者とは常に連絡を密にし、行政と共にサービスの質の向上に努めている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	利用者の暮らしぶりや健康状態について常に連絡を欠かさない。利用者本人の誕生日や行事等の記念写真をミニアルバムにして渡している。金銭管理についても出納の報告を定期的に行っている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族等の訪問時には必ず話し合う機会を設け、何でも話し合える雰囲気づくりをし、そこで出た意見は運営に反映させるようにしている。年一回の家族会も設けられ、意見の場づくりにも心配りがされている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	今年度の職員の異動や離職はなく、顔馴染みの職員によるケアは確保されている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	よりよいケアが提供できるために、それぞれ職員の段階に応じて、認知症・プライバシー保護・災害対策・緊急時対策等、法人内外の研修を受ける機会が確保されている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内7カ所のグループホームは、随時意見交換を持ちネットワークづくりや勉強会を通じて、時には相互訪問で他の事業所の体験学習をしながらサービスの質の向上をさせていく努力をしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	いきなり通いやサービスをするのではなく、職員が自宅へ伺ったり本人が事業所へ遊びに来てもらうことを繰り返しながら徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫をしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者本人の得意の分野、炊事・編み物あるいは絵画・音楽・書道などで力を発揮してもらい、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の生活のかかわりの中で、また生活歴を通して一人ひとりの思いや希望、意向の把握に努めている。困難な場合においても、とにかく実現に努力している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者本人や本人をよく知る家族等や関係者と本人本位で話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の期間に応じての見直しだけでなく、介護計画で対応できない本人、家族等の要望や変化が生じた場合には現状に即した新たな計画を作成している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者本人や家族等の状況、通院や送迎等その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者のほぼ全員が付属診療所をかかりつけ医としているが、本人や家族の希望や状況に応じて他の医療機関や専門医にかかるよう支援している。他の医療機関との関わりは医師やMSWと連携しながら支援している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から利用者本人や家族等とかかりつけ医を交えて折に触れ話し合い、全員で方針を共有している。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	さりげない言葉かけや対応がよく見受けられる。記録等の個人情報も書棚に施錠し保管されている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	事業所の一日の流れとして基本的なものはあるが、買い物や散歩等、利用者一人ひとりがその日何をしたいか本人の気持ちを大切に、それに応じた柔軟な支援をするよう努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者一人ひとりの力を活かしながら、調理や盛りつけ・後かたづけに至るまで職員と共に行い食事を一日の大切な活動の一つにしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の入浴は基本的には隔日となっているが、お湯は毎日沸かし希望に合わせてたり、体調を考慮して時間をずらすなどして臨機応変に対応している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の豊かな暮らしを支えるために、一人ひとりの力を発揮してもらえよう、料理をお願いしたり、野菜作り、編み物など、お願いできそうな仕事を頼み感謝の気持ちを伝えるようにしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近くの散歩だけでなく、本人の希望を聞いたり家族と相談しながら買い物や温泉、芝居に出かけ心身の活性化につながるようにしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間および冬場は温度調整のため出入り口を閉じていることがあるが、日中は概ね自由に出入りできるようにしており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	マニュアルを作成し、年2回、消防署の協力を得ながら利用者と共に避難訓練をしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの栄養摂取量や水分量を大まかに把握、嗜好に応じた食材を提供しながら一日を通じて双方が確保できるよう支援している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングルームやエレベーターホールにはソファが置かれ、さりげなく季節に応じた手作りの作品の飾り付けをするなど、利用者が居心地良く過ごせるような工夫が見られる。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室の入り口には、一人ひとり形の違った個性的な表札が掛かっていて分かりやすい。中には本人の顔写真が張り出されている部屋もあり、場所の見当識に対する配慮が見られる。室内には本人の使い慣れた家具や装飾品などが持ち込まれ居心地良く過ごせるような工夫をしている。		